学校番号	T3017

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	（学）情報と文化Ｃ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

プレゼンテーションソフトウェアを活用し、自分の伝えたいことを円滑に出力する力を身につけましょう。さらに情報を発信する際の注意点や情報を精査する力も同時に学びましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
情報を発信するための情報収集する手段、精査する方法を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
対象に的確にかつ端的に情報を伝える方法を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
情報をどのように取り扱うのか、変化する社会に対応する態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	効果的な情報発信の方法と、手に入れた情報を精査し、情報社会を適切に利用する力を身につける。	正しい情報と誤りのある、あるいは疑い深い情報の違いを精査し、発信する際にも適切にかつ端的に伝える方法を用いている。	情報発信について関心を持ち、実際に送受信する際にはどのような事柄に気を付けなければならないのかを取捨選択することができる力を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	情報を受信する	・情報を手に入れる方法・インターネットの活用・聞き取り調査の方法	a:情報について理解し、適切に情報を手に入れる手段を身につけている。 b:自分の手に入れたい情報を適格にかつ正確に知る方法を想定することができる。 c:多様な情報に関心を持ち、今後の生活に役立つような情報を積極的に入手しようとしている。	授業プリント 報告書	授 業 プリント 報告書	報告書 授業中の実習課題に対する取り組み
後期	情報を発信する	・情報を伝える方法 ・プレゼンテーションソフトウェアの使い方 ・情報のまとめ方	a:情報を発信することに対して対象に正確かつ、端的に発信する手段を身につけている。 b:発信したい情報をどのような方法で表現できるのかを考えることができる。 c:情報社会において快適にかつ語弊のないような表現をするにはどうすればよか、積極的に問題解決に取り組もうとしている。	授業プリント 報告書	授 業 プリント 報告書	報告書 授業中の実習課題に対する取り組み

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度